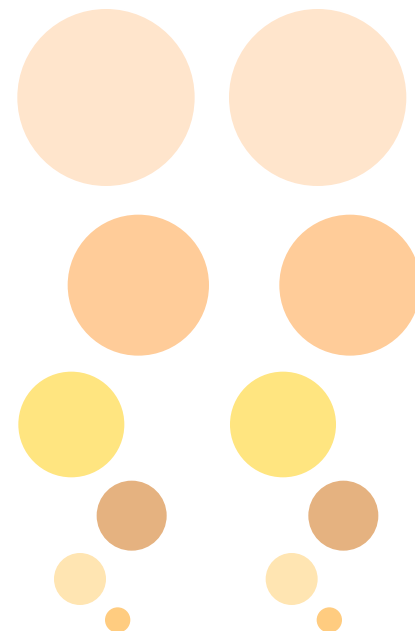


2016年3月期 第3四半期 決算概況



キャリア実現支援企業
東証JASDAQ : 9696
<http://www.with-us.co.jp>



目次

■ ウィザスについて

トップメッセージ	．．．．．	P.2
ウィザスとは	．．．．．	P.3
会社概要	．．．．．	P.4

■ 2016年3月期 第3四半期決算業績概要（連結）

業績の概要	．．．．．	P.5
-------	-------	-----

■ 事業別概況

事業別業績	．．．．．	P.7
事業別生徒数推移	．．．．．	P.8
学習塾事業	．．．．．	P.12
高校・キャリア支援事業	．．．．．	P.14
その他	．．．．．	P.17

■ 株主還元・CSR活動

株主還元について	．．．．．	P.22
CSR活動等の実施	．．．．．	P.23

トップメッセージ

私たちは、ウィザス独自の「意欲喚起教育（EMS※）」の実践を通じ、生徒の「自他肯定感」向上を育むために、一人ひとりの生徒の状況や個性を尊重し、生徒自身が自分を意欲喚起でき、自己成長し続ける力を養える教育をめざして参ります。

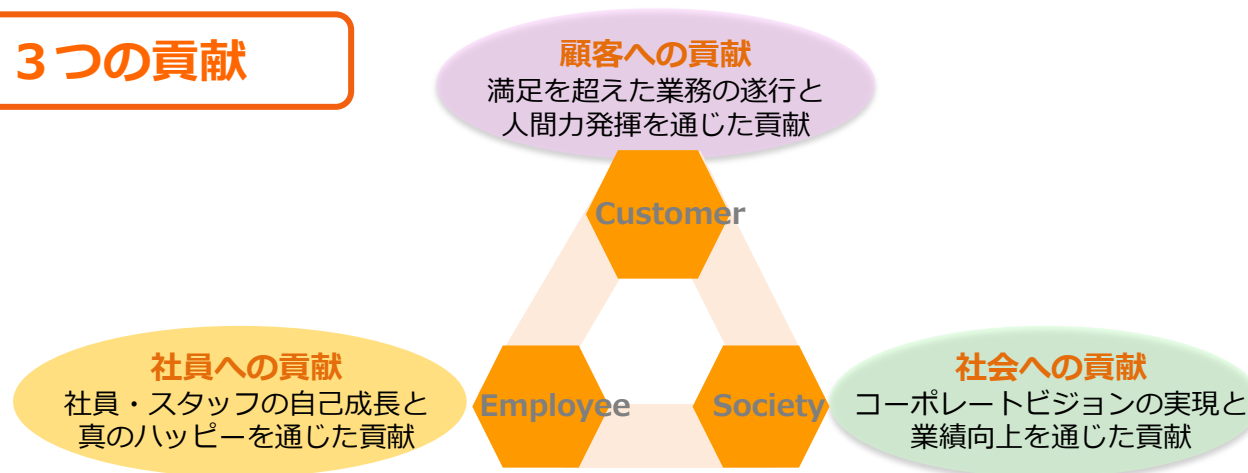
※the Educational Method of Self-motivation（P.12参照）



代表取締役社長
生駒 富男

【 経営理念 】

3つの貢献



【 コーポレートビジョン 】

“社会で活躍できる人づくり”を実現できる最高の教育機関をめざす

ウィザスとは – What is “With us” –

ウィザスグループは、当社および連結子会社8社、並びに関連会社3社で構成されています。学習塾事業、高校・キャリア支援事業、その他（ICT教育・能力開発事業、企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業）など多様な教育ニーズに対応した幅広い分野での総合教育サービスを提供しております。



学習塾事業

幼児から高校生までを対象とする教科学習指導・進学受験指導並びに能力開発指導
(株)ウィザス、(株)フォレスト、(株)佑学社、(株)学習受験社



高校・キャリア支援事業

広域通信・単位制高等学校の運営及び高等学校卒業程度認定試験（高認）合格のための受験指導、保育士・介護福祉士等の資格取得に向けた学習支援
(株)ウィザス



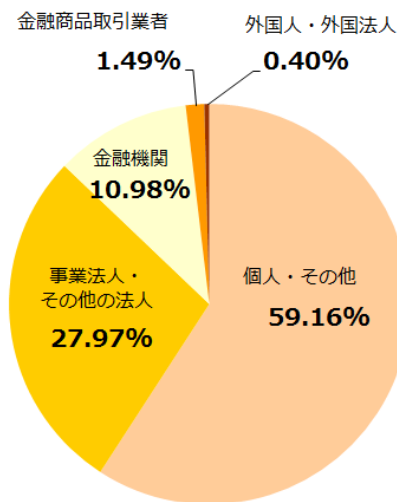
その他

速読を主体とし、各種教育サービスをWEB上で提供するICT教育・能力開発事業、映像等を活用した企業向け社員教育コンテンツの開発・販売を行う企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業等

(株)SRJ、(株)レビックグローバル等

会社概要

- **会社名** : 株式会社ウィザス (With us Corporation)
- **設立** : 1976年7月10日
- **資本金** : 1,299百万円
- **所在地** : 本社 大阪市中央区備後町3丁目6番2号 KFセンタービル
- **従業員数** : 640 名 (男 : 498 名 女 : 142 名) ※2015年12月末現在 (連結)
- **上場市場** : 東証JASDAQ
- **発行済み株式数** : 10,440,000株 ※2015年12月末現在
- **株主一覧** :



(注1) 上記は持ち株比率で表記しております。
 (注2) その他には自己株式を含んでおります。

	株主名 (2015年12月末)	所有株式数(千株)	議決権比率
1	株式会社ヒントアンドヒット	1,238	12.30%
2	株式会社増進会出版社	626	6.22%
3	ウィザス社員持株会	528	5.25%
4	堀 川 直 人	466	4.63%
4	堀 川 明 人	466	4.63%
6	堀 川 一 晃	271	2.69%
7	株式会社明光ネットワークジャパン	267	2.66%
8	株式会社みずほ銀行	267	2.65%
9	株式会社市進ホールディングス	220	2.18%
10	日本生命保険相互会社	217	2.15%

(注1) 上記のほか、自己株式が377千株あります。
 (注2) 議決権比率は自己株式を控除して計算しております。

業績の概要

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは独自の意欲喚起教育(EMS)（P.12参照）に基づく顧客満足度の向上に取り組み、成績向上と希望進路の実現に注力してまいりました。また、サービス形態の多様化対応として、ICT活用による映像配信授業の本格的導入、小学生英語教育需要に対応したコース拡充等を通じて、付加価値の向上を図ってまいりました。

以上の結果、連結業績は、売上高は9,877百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は668百万円（同11.3%増）、経常利益は691百万円（同4.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は376百万円（同23.2%減）となりました。

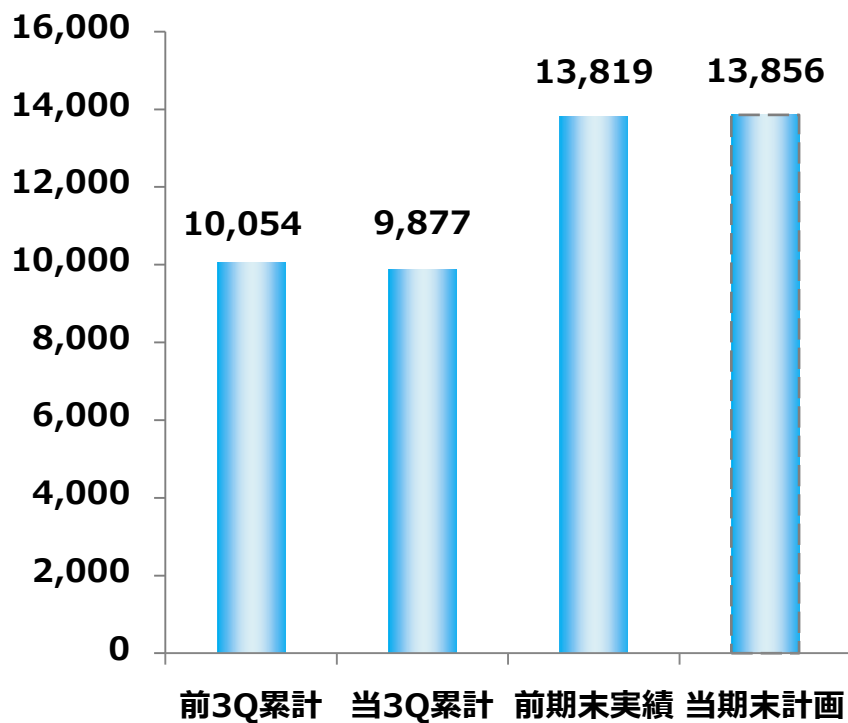
(百万円)	2015.3 3Q累計 実績	対売上比	2016.3 3Q累計 実績	対売上比	対前期増減		(ご参考) 通期	
					金額	%	前期実績	当期計画
売 上 高	10,054	-	9,877	-	△177	△1.8%	13,819	13,856
売 上 原 価	7,333	72.9%	7,162	72.5%	△170	△2.3%	9,911	10,033
売 上 総 利 益	2,720	27.1%	2,714	27.5%	△6	△0.2%	3,908	3,822
販 売 管 理 費	2,119	21.1%	2,045	20.7%	△74	△3.5%	2,931	2,755
営 業 利 益	601	6.0%	668	6.8%	67	11.3%	977	1,067
経 常 利 益	660	6.6%	691	7.0%	31	4.7%	1,029	1,062
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	490	4.9%	376	3.8%	△113	△23.2%	362	428

(注) 当期計画につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月14日に公表いたしました業績予想を平成28年2月8日に修正しております。

連結業績推移 2016年3月期 第3四半期決算データ

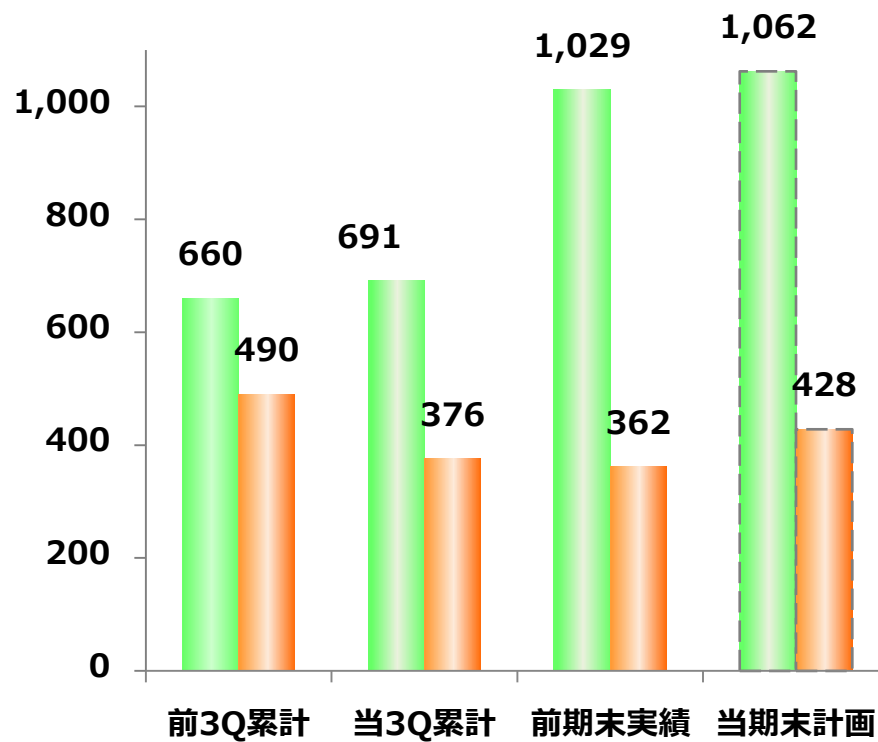
(単位：百万円)

売上高



経常利益・ 親会社株主に帰属する四半期/当期純利益

■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する四半期/当期純利益



(注) 当期末計画につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月14日に公表いたしました業績予想を平成28年2月8日に修正しております。

事業別業績 2016年3月期 第3四半期（連結ベース）

(単位：百万円)

3Q累計

	学習塾事業		高校・ キャリア支援事業		その他		調整額	
	前3Q期	当3Q期	前3Q期	当3Q期	前3Q期	当3Q期	前3Q期	当3Q期
売上高	6,075	5,965	2,842	2,864	1,135	1,047	-	-
営業利益	1,099	1,050	322	288	41	81	△861	△751
校舎数	178校	175校	39校	38校	7校	7校	-	-
生徒数	19,849名	19,095名	6,509名	6,211名	378名	390名	-	-

(ご参考)

通期

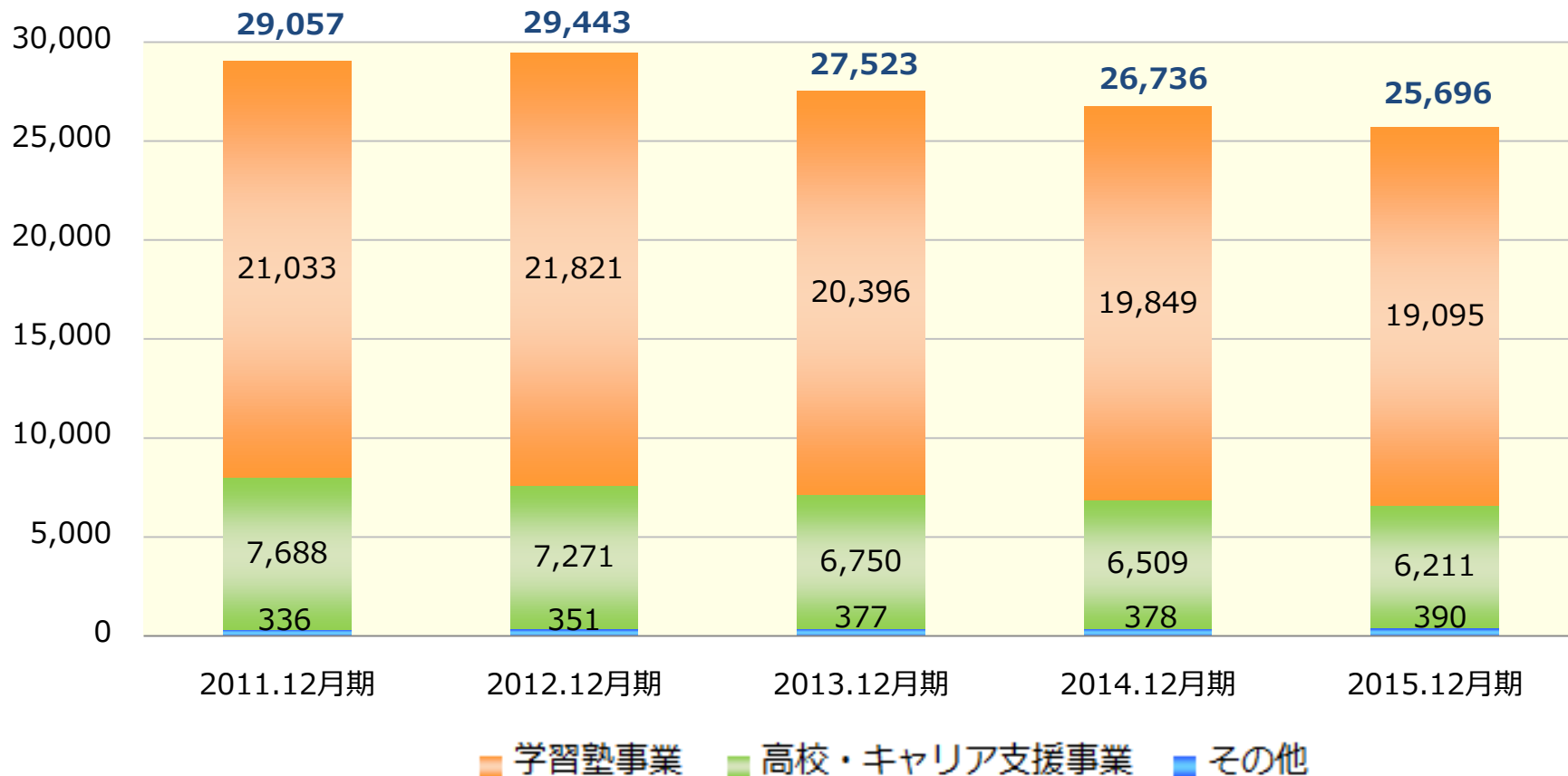
	学習塾事業		高校・ キャリア支援事業		その他		調整額	
	前期実績	当期計画	前期実績	当期計画	前期実績	当期計画	前期実績	当期計画
売上高	8,215	8,206	4,099	4,146	1,504	1,504	-	-
営業利益	1,329	1,289	647	620	138	166	△1,138	△1,008
校舎数	173校	188校	38校	39校	7校	9校	-	-
生徒数	20,096名	19,915名	6,750名	6,514名	378名	375名	-	-

- (注) ・営業利益は本社経費配賦前営業利益、生徒数は期中平均数を記載しております。
 ・「その他」の校舎数及び生徒数は幼児英語教育分野の校舎数・生徒数を記載しております。
 ・当期計画につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月14日に公表いたしました業績予想を平成28年2月8日に修正しております。

事業別生徒数推移 第3四半期決算データ

第3四半期 期中平均生徒数

(単位：人)



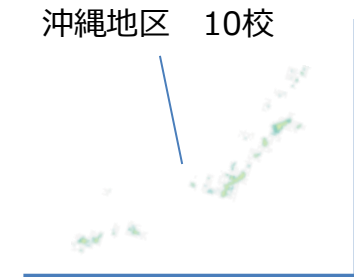
- (注) ・ 上記数値は正規在籍者のみを掲載しております。講習会等の行事参加者は除いております。
 ・ 子会社を含む連結ベースの生徒数を記載しております。
 ・ その他は幼児英語教育分野の生徒数を記載しております。
 ・ 高校・キャリア支援事業につきましては、高認通学コースの廃止にともない、同コースの生徒が高校の科目履修生および聴講生に移行しているため、生徒数に加算しております。

校舎展開

ニーズに応じた移転・増床と経営効率向上を目指した統合を行うことにより、適正な校舎規模を確保し、競争力の強化とドメインの拡大を図っております。

全国220校

(2015年12月末現在)



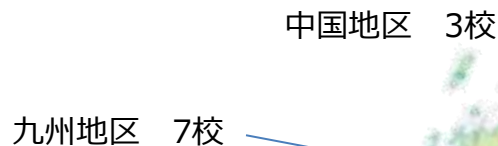
新規開校

ファロス 泉ヶ丘駅前校 ファロス 都島駅前校



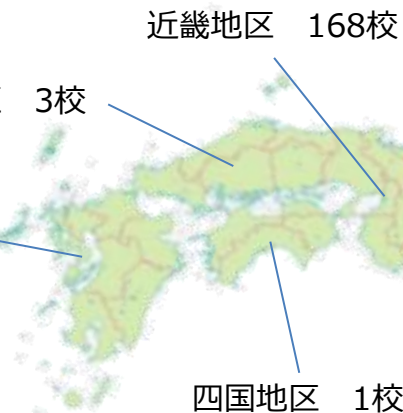
増床

第一ゼミナール 河内松原教室 第一ゼミナール 久米田教室















移転

第一学院 熊本校



事業展開

当社グループは、総合教育サービス企業として、学齢や指導形態等、多様な顧客ニーズに対応するブランド形成を図っており、近畿圏をドミナントエリアとして学習塾事業は大阪・京都・兵庫・奈良・和歌山・岐阜・広島・福岡・沖縄に175拠点、高校・キャリア支援事業は全国に38拠点、幼児英語・英語学童保育は兵庫・大阪に7拠点（2015年12月末現在）を展開しております。

カテゴリー	会社名	ブランド名	対象				
			幼児	小学生	中学生	高校生	社会人等
学習塾	(株)ウィザス			←→			
				←→			
				←→			
				←→			
				←→			
	(株)学習受験社		←→				
	(株)佑学社			←→			
	(株)フォレスト			←→			
高校・ キャリア支援 事業	(株)ウィザス					←→	
							←→
							←→
幼児英語・ 英語学童保育	(株)ウィザス		←→				

トピックス 教育と福祉の両面から新たなサービスを開発・提供

ますます進展する少子高齢化社会を豊かにするために、子育て支援、医療・介護サービスの充実、福祉サービスを支える人材育成等が求められています。そこで、2015年11月に福祉・医療・教育・文化の4分野を通じて社会貢献を経営理念の一つに掲げる株式会社ケア21と事業提携契約を締結いたしました。



“社会で活躍できる人づくりを実現できる
最高の教育機関をめざす”



株式会社ケア21

“福祉・医療・教育・文化の4分野を
通じて社会貢献”



- 障がい児童対象のデイサービスでの学習指導の提供
- 介護施設における学童保育所・学習塾の併設
- 外国人労働者のための介護教育指導機関の設立と運営
- 福祉専門職（介護・保育）のためのICT教育の推進
- 福祉理念を有したグローバル人材の育成

今後、両社グループは、本事業提携により、これまでに両社が培ってきた教育・福祉サービスや教室・施設の運営ノウハウなどの経営資源を相互に活用することで、教育と福祉の両面から新たなサービスを開発・提供し、両社の企業価値の向上を図るとともに、社会へ貢献してまいります。

－学習塾事業－： 独自の教育プログラムによる顧客満足度の追究

意欲喚起教育EMS (the Educational Method of Self-motivation)

EMSとは、当社40年間の指導経験に、最新の脳科学の研究成果を活かすことで確立した独自の意欲喚起教育で、**プラス思考の重要性とキャリア教育プログラム、前向きに勉強することの大切さ**を伝える指導で構成されています。

授業を始める前に「プラス思考」や「尊敬できる自分づくり」などに関する短い訓話を行い、年4回開催される意欲喚起特別講座では、思い込みによるマイナスイメージからプラス思考への転換と意欲の向上に取り組みます。このことにより、**単に教科学習だけに終わらず、他者に支えられていることに感謝しながら、自己成長を図る高付加価値教育サービスを提供しております。**



“D1グランプリ”による授業品質向上と学びの多様化

意欲喚起教育(EMS)の推進とともに、授業品質向上の取り組みとして、社内において指導や授業の質を競い合う“D1グランプリ”を開催しています。

“D1グランプリ”は授業アンケートと教科テストの結果から選定された出場者による模擬授業の評価で決定されます。



グランプリの開催により、年次的合格実績の確保に向けた次代を担う教員育成の一環として、中堅・若手教員の指導力向上をめざすとともに、エリアや教科間での教員育成の活性化を目的としています。

さらにICTを活用し、グランプリでのベスト授業の配信も行っています。通常の授業に加え、生徒が自らの学びを強化する目的で授業を受けたり、校舎によっては人数が少なくて開講できない科目にも対応できる等、学びの多様化にもつながっています。

2015年3月期 実績

校舎数	173校
期中平均生徒数	20,096名
売上高	8,215百万円
営業利益	1,329百万円



2016年3月期 (通期計画)

校舎数	188校
期中平均生徒数	19,915名
売上高	8,206百万円
営業利益	1,289百万円

(注1) 共通費用配賦前の営業利益

(注2) 通期計画は平成28年2月8日に修正

トピックス 大きく変わる入試制度・英語教育への対応

入試制度・英語教育改革に対応した業態開発

今後ますます進展すると考えられるグローバル社会への対応のため、文部科学省によるグローバル人材育成の推進、小学英語の教科化などの教育改革が予定されています。当社グループでは時代の変化に対応した業態開発を行うことで新規取組みを強化し、強固な事業基盤を構築してまいります。

年度	教育改革
2017年度	■大阪府公立高校入試改革（英語） ・「聞く・書く」の出題が50%以上 ・より高度な「読む」力の必要性 ■大阪府立で初の中高一貫教育校の開校（府立富田林中学校）
2018年度	■英語必修化（小3～）、英語教科化（小5・小6）、英語による授業（中学校） ■大学入試の4技能化（聞く・話す・読む・書く）
2020年度	■大学入試センター試験廃止 思考力・判断力・表現力や、主体性をもって多様な人々と協働する力を重要視

当社グループの対応

【大阪府公立高校入試改革】⇒ 5教科での総合力の強化

- ICT活用による理科・社会の映像授業の配信エリアの拡大
- 英語で重視されるリスニング力・読解力育成などの特別講座を拡充



【英語教育改革】⇒ コースの拡充

- 記述力や長文読解・リスニング力を強化するカリキュラム
- 外国語講師のオンラインライブレッスンで4技能をバランスよく習得するコースの設置

【公立中高一貫校入試】⇒ 対策コースの設置

- 適性検査に対応した学習内容の基礎基本の徹底と、それらの知識を組合わせ答えを導き出す総合的な学力を育成

－ 高校・キャリア支援事業 －

高校事業

第一学院高等学校

構造改革特区の認定を受けた株式会社立の広域通信制高校で東日本に「高萩本校」、西日本に「養父本校」の2校を設置しております。様々なニーズに対応したコースや教育プログラムを開発・開講し、全国47都道府県から入学することができます。

設置コース

■通学型

キャンパスコース・本校通学コース・専門コース(芸能・ペット・美容・スポーツ)・個別指導コース・高認取得コース

■通信型

Mobile HighSchool (通信コース)、高認取得コース



高萩本校（茨城県）



養父本校（兵庫県）

2015年3月期 実績

校舎数	38校
期中平均生徒数	6,750名
売上高	4,099百万円
営業利益	647百万円



2016年3月期（通期計画）

校舎数	39校
期中平均生徒数	6,514名
売上高	4,146百万円
営業利益	620百万円

(注1) 共通費用配賦前の営業利益

(注2) 通期計画は平成28年2月8日に修正

キャリア支援事業

第一学院専門カレッジ

社会人を対象に週1～2日の通学で保育・介護・ビジネスの資格取得に向けた授業を実施しております。実技授業により、現場で活用できる知識を身につけることが可能です。

設置コース：保育士コース・介護福祉士実務者研修・キャリアデザインコース

第一学院高等学校 専攻科

社会人を対象に保育・公務員などニーズの高い資格の通信講座を開講しております。2年コースを修了すると短大・専門学校と同等の学歴を得ることができます。

設置コース：保育士専攻・社会人基礎力専攻



－高校・キャリア支援事業－：地域と一体化した独自の教育サービスによる差別化の推進

地域社会に密着した体験型実学教育

第一学院高等学校では、地域全体で生徒を育む取組みとして体験型実学教育を推進しております。地域に根ざした授業を多様に取り入れたキャリア教育プログラム「ソーシャルトライアル」を展開し、魅力ある教育サービスの提供を通じて競合他社との差別化を図っております。

地域全体を「学校」と捉えた教育 “コミュニティ共育”



環境ボランティア

ボランティア活動

地域のボランティア活動やイベント活動に参加し、自分自身がたくさんの方に支えられていることを実感していきます。

ジョブシャドウイング (職場観察・仕事観察)

働いている大人の姿を観察したり、実際に仕事を体験することで、仕事の大変さや楽しさを学びます。



印刷会社見学

夢授業(しごと講話)

地域で活躍されている方々を講師として迎えた授業を行い、何を目的にしているのかを学びます。



美術館の方のお話

地域宣伝隊

キャンパスの近隣にある商店や企業を訪問し、地域の一員であることの理解を深め、地域のPR活動を通じて、地域貢献の意識を育みます。



地域の調査

トピックス ICTを活用した『チャレンジレッスン』がテレビで紹介されました！

プロから学べる授業を全国のキャンパスにライブ配信

第一学院高校で毎週火曜日に展開している『チャレンジレッスン』。東京のスタジオから全国のキャンパスに、様々なジャンルの第一線で活躍しているプロの方や専門学校の講師の授業を生ライブ配信でお届けするという、最新の技術を活用したICT教育の取り組みです。



2015年11月のレッスンでは、フジテレビ“とくダネ!”で「あまたつ〜!!」の呼びかけで有名な、気象予報士の天達武史さんを講師としてお迎えしました。あまたつ先生からは気象予報士試験の勉強から得たアドバイスとペットボトルを用いた雲の製作を教えていただき、生徒たちは天気予報にもチャレンジしました。ICTを活用して全国のキャンパスからも双方向で質問でき、授業への参画意欲が高まり、学習意欲と教育効果の向上がみられました。



最新の設備を備えた配信スタジオよりICT技術をフルに活用し、『チャレンジレッスン』のように生徒のみなさんがより意欲的に楽しく授業に参加し、将来がワクワク楽しみになってくるような授業を展開しております。引続きICT教育の本格的推進と魅力あるコースの拡充を図ってまいります。

－その他－

ICT教育・能力開発事業

- インターネットを介した小・中・高校生対象の授業だけでなく、資格講座や語学講座等、職業・年齢を問わず品質の高い講座を提供しております。
- 能力開発「右脳速読講座」を全国教育機関に提供するとともに、企業や一般社会人向けコンテンツも制作・販売しております。
- 小学生向けにe-ラーニング教材での英語学習とアメリカ在住の講師とのオンラインでの英会話レッスンによる英語学習プログラムを提供しております。
- キャリア教育コンテンツ“意欲喚起教育テキスト・映像教材（DVD）”を全国教育機関へ販売しております。



2015年3月期 実績

売上高	1,504百万円
営業利益	138百万円



2016年3月期（通期計画）

売上高	1,504百万円
営業利益	166百万円

（注1）共通費用配賦前の営業利益

（注2）通期計画は平成28年2月8日に修正

企業内研修ポータルサイト事業

- 法人向けe-ラーニングサービスを展開し、社員育成・能力開発教材コンテンツを提供しております。
- 映像を活用し、学習スタイルや学習方法に応じた最適な教育の開発と学習環境のプロデュース、ナレッジ継承などによる人材育成及び人材開発をサポートします。



－その他－ ICT教育・能力開発事業

能力開発：速読を中心とした能力開発コンテンツの制作・販売

能力開発では社会全般で注目されている『速読』を当社独自で応用・研究し、小学生から社会人までの幅広い年齢層を対象に、速読力を総合的に鍛える講座を制作・販売しております。さらに、ICTを活用した小学生向けの英会話、小中高生向けのキャリア教育コンテンツを全国教育機関へ販売し、社会で活躍できる人づくりに貢献しております。

速読速解システム

長文を早く正確に読み解き記憶する能力を最大限に引き出す「速読速解システム」は、学習塾や公私立学校等1,900校以上の教室で導入され、受講者は累計22万人を突破しております。脳科学に基づき開発されたトレーニングを行い、記憶力・理解力、さらに入試での合格力を高めます。

また、速読メソッドを活用し、入試英語に必須の長文読解に特化した「速読英語」と社会人を対象とした資格取得やTOEIC対策に特化した「ビジネス資格90」があり、幅広い年齢層に対応しております。



オンライン英語コース



e-ラーニング教材による学習と、アメリカ在住の先生とオンラインでリアルタイムに会話学習を行います。「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」の4技能をバランスよく習得し、英語のコミュニケーション能力を育みます。

キャリア教育コンテンツ



キャリア教育「みらい」はテキストと映像の授業進行によって、実生活の身近なテーマにより社会の仕組みを学び、今の勉強が将来役に立つことが実感できる教材です。全国で9万人以上が受講しております。

トピックス 英語教育需要に対応したコースの拡充

『速読英語』が日本e-Learning大賞の部門賞を受賞

第12回日本e-Learning大賞
ナイストレーニング部門賞



当社のグループ会社、(株)SRJが販売する『速読英語』が2015年10月に第12回日本e-Learning大賞の部門賞である“ナイストレーニング部門賞”を受賞しました。

「日本e-Learning大賞」とは、eラーニングアワード2015実行委員会と日本工業新聞社が主催し、新しい学習の可能性・学力向上に役立つさまざまなコンテンツ・サービス、ソリューションを表彰する賞です。

ますます進展するグローバル化を見据え、入試問題は長文化・4技能型となってきました。

『速読英語』は長文読解力の向上と4技能の基礎力を養成します。さらに最新版には、大学入試センター試験コンテンツも拡充しました。

今後も英語教育や入試改革の趨勢に応じ、商品力の強化と教育サービスの高付加価値化を推進してまいります。



ますます高まる小学生英語需要への対応

文部科学省が推奨するグローバル人材の育成や2018年度に予定されている小学英語の教科化方針により、英語学習需要は低年齢化し、小学生においてもますます高まっています。

当社グループでは、アメリカ在住の外国人講師によるオンラインライブレッスンと学習アプリを使った“Meet the World”のコースを設置し、受講者数も順調に増加しております。



－その他－ 企業内研修ポータルサイト事業

法人向けe-ラーニングサービスの提供



三井住友銀行をはじめとするメガバンクや国内自動車メーカー等の大手製造業、近鉄エクスプレス、アサヒビール等の大企業における社員研修や営業研修等の法人向けオンライン教育サービスを提供しております。映像などのリッチメディアを活用した教材の開発から、学習環境のプロデュース、ナレッジ継承による人材育成・開発を行っております。

主な製品

■eラーニング教材

- ・ 内定者/新入社員研修・教育
- ・ 人材育成（グローバル人材、管理職、若手中堅社員向け）
- ・ 営業研修
- ・ 会計/財務
- ・ MBA
- ・ 語学（TOEIC/中国語）
- ・ PC/ITスキル
- ・ CSR/コンプライアンス



■外国人スタッフ向け研修教育（多言語）

- ・ 英語
- ・ 中国語
- ・ ベトナム語



－その他－ 幼児教育

世界を舞台に活躍できる人づくりを目指して、本格的な英語教育に力を入れています。学校英語の枠組みとは異なった本物のコミュニケーション能力を育む教育スタイルを実践しております。英語教育の早期化及び学童保育の必要性といった社会のトレンドにいち早く対応いたします。

幼児期からの英会話能力養成



英語で保育、英語で授業をモットーに、経験豊かな外国人との生活面を含めたふれあいを通じて、英会話能力を育成いたします。国際感覚を養成する英語環境の保育施設を大阪府および兵庫県に展開しております。



英語指導を行う学童保育施設の展開



学童保育に加え、ますます進む国際化、英語必須時代に向けて、国際社会で通用するコミュニケーション力を養成するカリキュラムを展開し、英語の4技能（聴く・話す・読む・書く）を本格的に指導します。さらに、映像・ICT教材を活用し、児童の学習意欲を引き出すとともに、ITリテラシー*の向上もはかります。大阪府に2校展開しております。



*1: パソコン・インターネットに関する利用能力

株主還元について

当社は株主の皆様に対する利益還元を最重要課題のひとつと考えております。利益配分の基本方針としては、将来における企業成長と経営環境の変化に対応するための投資や強固な財務体質構築に資する内部留保金を確保しつつ、継続的な配当による株主の皆様への利益還元を積極的に行い、安定配当に主眼をおいた考え方を取っております。

期	年度	1株当たり配当金 (円)	純資産配当率 (%)	利回り ^(注1) (%)	株価(期末終値) (円)
37期	2013.3	15.50 (記念配2円含)	3.7	4.53	342
38期	2014.3	13.50	3.4	4.82	280
39期	2015.3	13.50	3.2	4.15	325
40期予想 ^(注2)	2016.3	16.00 (記念配2.5円含)	—	—	—

単元株数は100株となっております。

(注1) 利回りは年度末3月31日時点の株価で算出しております。

(注2) 第40期につきましては、中間配当8円(記念配2.5円含む)、期末配当予想8円となっております。

環境保全活動、CSR活動等の実施

環境保全活動

第一ゼミエコ★プロジェクト

当社では、「**「世界の子ども」と「地球の未来」を創る**」をテーマとする「ペットボトルキャップ回収」に取り組んでおり、キャップの売却益が「世界の子どもにワクチンを日本委員会」へワクチン代として全額寄付されます。

キャップ回収：4,497,947個

ワクチン：5,622人分

CO₂削減：35,421.3Kg

2016年1月19日現在



■キャップ800個

→ポリオワクチン1人分

■キャップ400個

→3.15kgのCO₂削減

校舎照明の切り替え

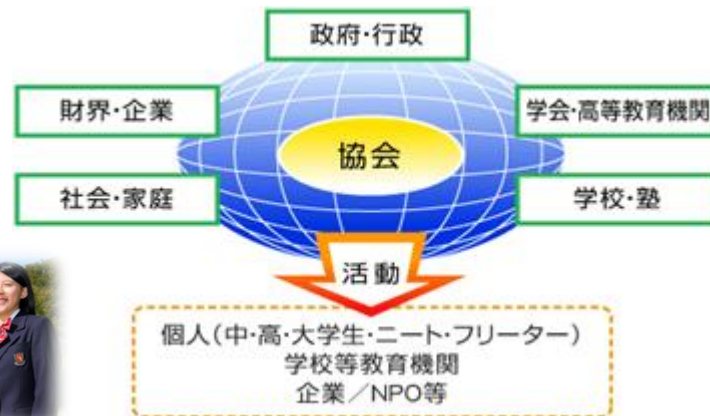
当社では、節電と環境保護のために全校舎でのLED照明切り替え活動を行っております。LEDは地球環境に貢献でき、電力使用量及びコストの大幅削減になる照明です。



社会貢献活動

キャリア教育事業を通じた活動

青少年と行政・企業・教育機関等とのキャリアネットワーク形成を推進する「一般社団法人 共生と共育ネットワーク」の受託業務において、収益事業としてではなく社会貢献活動の一環と位置付け、全国の保護者・団体等への講演・相談会を行うと同時に、カウンセラーの養成・研修を推進しております。





東証JASDAQ : 9696

お問合せ先 株式会社ウィザース 統括支援本部 経営企画チーム

【TEL】 06-6264-4205

【Mail】 webmaster@with-us.co.jp

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。